

TP2

(イ) 使用法

- 12月1日、日の入り1時間後の西天の資料 (TP1) と2週間後の資料 (TP2) を提示する。
- 理解できにくい生徒にはTP1とTP2の地平線を重ねて提示する。
- 太陽と星座が近づく事実から、TP1とTP2の太陽の位置を重ねて提示し、星の動きを理解させる。
- 理解しにくいときは、TP3を使って補足説明し、太陽と星の相対的な運動についての理解を深める。
- 太陽の天球上の動きを調べるには、TP1とTP2をどう重ねるかを考えさせる。
- TP1とTP2の星の位置を重ねて提示し、この時太陽は、日がたつにつれて、西から東へ移っていることを説明し、まとめる。

イ TP3の製作と使用法

(ア) 製作方法

- 図のように、TPシートを切って、大小2枚の円板をつくり、中央をハト目でマザーシートにつけ、自由に回転できるようにつくる。
- 星、太陽、地球、夜の部分には、カラーシートをはる。

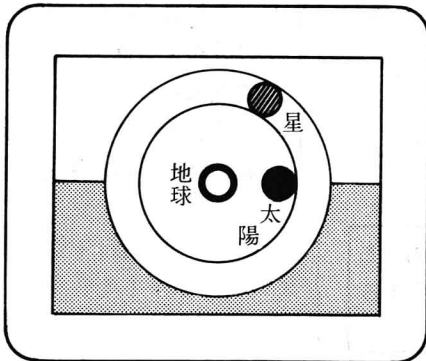


図1

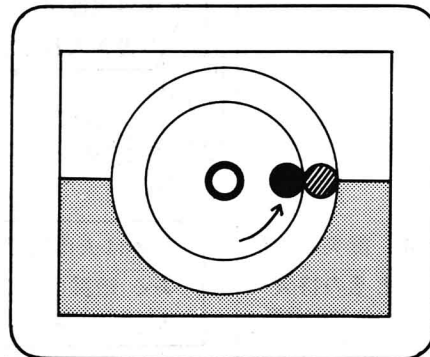


図2

(イ) 使用法

- 日の入り時、西の空の星 (図1) は、月日がたつと、その位置が太陽に近づく。(図2) 太陽と星が同じように動けば、こうした現象はおこらないことを演示する。
- 事実を説明するためには、太陽を固定した場合は、星が西へ、星を固定した場合は、太陽が東へ移動したと考えられることを説明する。

(3) 高等学校 地学1

① 単元名

② 本時の題材と目標

ア 題材名 マグマの発生

イ 目標

- マグマは地下で、どのような条件が満たされた場合に発生するのか